

令和6年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 28
ID 150501

【施設状況】

グループ名称	長野市芸術館											
指定管理者名	一般財団法人長野市文化芸術振興財団							法人番号		2100005011344		
所管課	主	150500	文化芸術課		副							
構成施設	15056	長野市芸術館										
施設分類	02	施設貸出1型			施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制		
施設概要	メインホール1,292席(小楽屋×2、中楽屋×5、大楽屋×2)、リサイタルホール293席(小楽屋×1、中楽屋×2)、アクトスペース230席(中楽屋×2)、展示サロン、バンド練習室×3、音楽練習室×2、演劇練習室×2、リハーサル室、アトリエ、ミーティングルーム、情報ライブラリー・チケットセンター											
施設設置目的	文化芸術活動の場を提供すること等により、創造的で多様な文化芸術活動を促進し、もって文化力あふれるまちづくりに資する。											
基本方針等	「育む・楽しむ・創る・つなぐ」の4つの役割のもと、長野市芸術館が目指す基本方針 ・市民が日常的に多様な文化芸術に出会う機会の創出 ・子どもたちを始めとするすべての世代が良質な舞台芸術に触れ、豊かな心を育む機会の創出 ・市民自らが「長野らしさ」を見出し、育む機会の創出 ・市民が芸術館に集い、出会い、心を通わせる、多様な交流機会の創出											
主な実施事業	【貸館業務等】メインホール、リサイタルホール、アクトスペース、リハーサル室、各種練習室等の貸館業務、チケット販売、広報事業等 【市指定事業】■有料公演事業22事業、42公演を企画 ■通年・その他事業 長野市芸術館ジュニア合唱団の運営、シニア演劇アカデミー、お届け芸術館、オープンハウスDAY、ランチ・タイム・コンサート、市役所ロビー・コンサート、Everly訪問ミニ・コンサート、ステージ体感プラン 他											

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		一般財団法人長野市文化芸術振興財団				当該指定管理者の 指定回数		3回			
指定期間		令和6年4月1日		～	令和11年3月31日		5年	当該指定管理者の 管理運営開始日		平成27年4月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。										評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)										3

3

2 施設の有効活用

No. 28

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	対前年比	4
	利用者総数(館全体)	人	110,659	158,657	166,350	169,923	102%	
	[内訳] メインホール	人	56,122	90,024	82,500	89,007	108%	
	リサイタルホール	人	14,494	22,788	25,607	25,494	100%	
	アクトスペース	人	11,095	14,806	17,712	16,188	91%	
	練習室等	人	28,948	31,039	40,531	39,234	97%	
	稼働率(館全体)	%	68	75	74	75	102%	
	施設等利用料収入 (特記事項)	円	48,833,530	63,565,110	64,840,125	60,509,170	93%	
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			4
	市指定事業	・芸術館の利用許可に関する業務 ・芸術館の施設及び設備の維持管理に関する業務 ・文化芸術に関する公演等の企画及び実施に関する業務 ・施設、附属設備及び物品の維持管理に関する業務 ・利用料金の収受に関する業務						
	自主事業	・コピーサービス						
サービス維持・向上の取組み (広報等)		■Facebookフォロワー数 2,975人(前年2,842人) ■ホームページ閲覧数 700,493回(前年768,792回) ■Twitterフォロワー数 1,367人(前年1,221人) ■You Tube チャンネル登録者数 987人(前年913人)						

3 利用者評価

区分		内容	評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	3
	(2) 調査、会議等の内容 ・主催公演来場者、オープンハウスDAY参加者へアンケートを実施 回答総数4,516件、回収率37.7%		
	(3) 調査、会議等の結果 アンケートの指摘事項は、館の運営に反映している。		
利用者評価	(1) 良好とする評価 【主催公演アンケート結果より】 ・曲の解説もわかりやすくてのしめました。演奏も素晴らしく良かったです。ピアノの音がやさしく聞きやすくて素敵でした。(水曜ひるまのクラシック・リサイタルシリーズ) ・熱いセッションを聴いていると、心が解放されるようでした。ステージの熱気が客席まで伝わってきて、体温が1℃くらい上がった気がします。(長野市芸術館ジャズ・フェスティバル2024) ・都会にいないと聴けないような大掛かりな曲も長野で聴けて感動です。意欲的な曲への取り組みが素晴らしいと思います。(カルミナ・ブラーナ2024) ・学校でも見て、はく力がすごくておもしろかったのでも見にきました。楽しかった!!(Everly クリスマス・コンサート2024)		
	(2) 苦情・改善等の要望事項		
	《対応措置》		

4 事業収支

No. 28

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和6年度)				市の収支				評価		
		年度計画額		収支実績額			令和6年度決算			令和5年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額		項目	金額
	収入	利用料金	52,000,000	利用料金	60,509,170	歳入	使用料	173,336		使用料	173,336
		指定管理料	325,000,000	指定管理料	325,000,000		雑(納付金)			行政財産目的外使用料	
		委託料		委託料			貸付料				
		販売収入等	43,707,000	販売収入等	46,926,830		その他				
		その他収入	14,162,000	その他収入	10,129,299						
			20,000,000		26,422,000			32,651,541			33,245,858
		15,907,000		7,100,000		6,342,000		5,644,000			
計	470,776,000	計	476,087,299	計	39,166,877	計	39,063,194				
支出	人件費	148,202,000	人件費	144,242,201	歳出	指定管理料	325,000,000	指定管理料	318,856,000		
	設備管理費	105,988,000	設備管理費	103,362,271		委託料	706,300	委託料	33,000,000		
	備品購入費	0	備品購入費	2,828,867		需用費	33,017,974	需用費	32,820,015		
	修繕費	4,200,000	修繕費	4,948,715		役務費		役務費	3,283		
	光熱水費	27,007,000	光熱水費	32,576,684		使用料・賃借料	631,189	使用料・賃借料	488,213		
	事業費	125,536,000	事業費	113,740,233		修繕費		修繕費			
	事務経費	59,827,000	事務経費	57,260,415		工事請負費	88,000,000	工事請負費			
	本社経費		本社経費	0		備品購入費		備品購入費			
	その他		その他	6,342,000		その他	396,700	その他			
	計	470,760,000	計	465,301,386		計	447,752,163	計	385,167,511		
自主事業	収入	0	収入	42,660							
	支出	0	支出	0							
	自主事業損益	0	自主事業損益	42,660							
損益	16,000		10,828,573		差引	-408,585,286		-346,104,317			
人件費比率【人件費(賃金等)／令和6年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									31.0%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分		確認内容	チェック欄	評価	
管理運営全般	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☒	3	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)			職員数32名(28名 87.6%) ・常 勤 理事長1名(1名)、職員23名(19名) ・非常勤 嘱託・パート8名(8名)
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	☒		
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか	☒		
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか	☒		
2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか					
セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	☒			
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか				

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	
	・地元雇用、地元事業者の活用に努める。また、舞台芸術等の専門職員との役割分担を明確にした上で、積極的にアウトソーシングを行う。 ・長野県公立文化施設協会に加盟している県内ホール相互での情報共有や、公演チラシの配布など連携に努める。 ・新たに市内観光地の活用や観光誘客イベントとの連携による公演などの実施による交流の促進と、劇場とまちがつながる「まち☆ハブ事業(仮称)」に取り組む。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価	
指定管理者の健全性	3	6	合計得点 68	指定管理者の健全性 施設の有効活用 利用者評価 事業収支 管理運営全般 危機管理体制 地域連携 ----- 基準値
施設の有効活用	4	16		
利用者評価	3	6		
事業収支	4	16		
管理運営全般	3	6		
危機管理体制	3	12		
地域連携	3	6		

評価理由	【施設の有効活用】 ・前年度より総利用件数は962 件の増の7,896 件、総利用者数は3,573 人増の169,923 人、施設稼働率(全施設平均)は1.4 ポイントの上昇の75.0%となり、稼働率・総利用件数ともに過去最高の値となったことから、評価を4とした。 【事業収支】 ・支出の光熱水費が増加したものの、年間パートナー及び事業協賛金の増など、積極的な収入の確保に努めるとともに、時間外手当や広告費等の減のほか、出演者との交渉による契約額の減などの支出削減に努め、良好な収支を確保したことから、評価を4とした。		
取組み・改善案等(施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
	・効率的かつ効果的な改修計画を検討する。 ・引き続き市民のニーズを調査しながら、多くの市民に足を運んでいただける事業を展開する。	・芸術館メインホール照明LED化工事を行った。 ・「TAIRIK×オーケストラ・アンサンブル金沢」、「復興NAGANO! 音楽祭2024 ～絆～」などの大型主催公演のほか、KIDS Meets Arts プロジェクトの一環として、子どもから大人まで楽しめる「東京交響楽団(オーケストラってなあに?)オーケストラ入門コンサート」などの新規公演を開催した。	
次年度の目標・取組み等(施設所管課)	・「育む、楽しむ、創る、つなぐ」の4つの事業コンセプトの下、「文化芸術でさらにこころ豊かで幸せなまちに～ここから つながる～」をテーマに、「ホールの特長や市民ニーズに応じた鑑賞事業」、「市民自らが主役となる事業」、「質の高いサービスの貸館事業」、「劇場とまちがつながる事業」を展開するとともに開館10周年記念事業に取り組む。 ・舞台設備等の耐用年数が近づいている機器の計画的な更新・改修を行うため、引き続き市と指定管理者とが一体となって効率的かつ効果的な改修計画を検討する。		

指定管理者自己評価		
(1) 今年度の取組みに対する評価 ① サービス向上に向けての取組み ア 主催事業 (ア)鑑賞事業 継続公演として、「水曜ひるまのクラシック・リサイタルシリーズ」、「長野市芸術館ジャズ・フェスティバル」など、当館ならではのオリジナルプログラムを提供すると共に、市民ニーズに合せて、「金曜よるのクラシック・リサイタルシリーズ」の開催時期を、厳冬期を避けて4月～6月の開催へと変更しました。 また、「TAIRIK×オーケストラ・アンサンブル金沢《ヴァイオリン×ヴィオラ クラシック×クロスオーバー ニ刀流 Stage!!!》」、「復興NAGANO！音楽祭2024～絆～」、「billboard classics Premium Symphonic Concert in Nagano」など、幅広い客層にも興味を持っていただけるような当館オリジナルの構成にした大型公演を開催しました。 また、訪問コンサートやホールでの無料公演事業として、芸術館での「ランチタイム・ピアノ・コンサート」や「ロビー・コンサート」のほか、ハイブリットバンド Everlyによる「学校訪問コンサート」、長野県内出身の若手プロ奏者12人による「NAGANO12訪問コンサート」を開催し、市民が無料で気軽に音楽を鑑賞できる機会を提供しました。 加えて、長野市の将来を担う子供たちに文化芸術に触れる機会を設けるプロジェクトとして、「KIDS Meets Artsプロジェクト」を実施しました。 子ども向けの公演として、0歳から入場が可能な「冗談音楽の祭典『ズーラシアンプラス・ショー』」、「Everly クリスマス・コンサート2024」や、子どもたちが指揮者を体験できる場を設けた「オーケストラってなあに？ 東京交響楽団とともに贈るオーケストラ入門コンサート」を開催するなど、鑑賞事業・参加型事業の12事業で、子供たちの文化芸術に触れる機会の創出に努めました。 さらに、協賛金を活用し、様々な理由により公演に来ることが難しい家庭・子どもたちに向けて、市関係部局と連携して招待チケットを提供する「ARTS ANGEL TICKET」事業を実施し、文化芸術に触れる機会の創出に取り組みました。結果として、来場者数275名(こども161名、おとな114名)の参加を得ることができました。 (イ)参加型事業 第3期指定管理事業方針の「ここからつながる」をコンセプトに、「カルミナ・ブラーナ2024」や「長野市芸術館館ジュニア合唱団」の運営など、市民自らが主役となる参加型事業に積極的に取り組みました。 イ 貸館事業 施設利用者に実施したアンケート結果では、93%の方から設備(94.6%)、価格(90.4%)、サービス(94.6%)共に満足していると回答をいただきました。 また、施設利用者の拡大に向け、協賛パートナーを中心に利用案内のチラシの配布や訪問による営業を行いました。 ② 業務の効率化に対する取組み 職員による他ホールへの視察・研修を推奨し、自己研鑽の機会の充実に努めました。他ホールでの取組等を学ぶことで、広い視野をもった施設運営に努めています。 ③ その他 ア まち☆ハブ事業 (ア) 音楽とまちを楽しむ情報誌「Knot&(ノットアンド)」の発行 アーティスト、長野市の学生及び企業・街とのつながりを創造する情報誌として、リニューアルした「Knot&(ノットアンド)」を初めて発行し、信州大学教育学部の学生及び長野県立大学グローバルマネジメント学部が出演アーティストとまち歩きを行い、インタビューをする様子を発信しました。 (イ) Meets☆Meets活動 長野市芸術館のゼロから公演を企画制作するノウハウを活かし、地域でのイベント開催に協力しました。長野県立美術館から依頼を受けて長野市芸術館が、イベントの趣旨、会場の作り方、アーティストの選定などをプロデュースし、来場者400人規模の公演を行いました。		
(2) 指定管理者業務実施上の課題 ・開館から9年目を迎え、舞台設備(舞台・音響・照明)の耐用年数が過ぎているものが散見される。計画的な改修・更新が必要です。 ・空調設備などの機器の故障が増えてきており、今後故障箇所によっては、運営が困難になることも考えられるため、計画的な改修・更新が必要です。 ・引き続き市民のニーズを調査しながら、多くの市民に足を運んでいただける事業展開を図ります。 ・開館10周年に向けて、大型記念事業実施の準備が必要です。 ・光熱水費や人件費、修繕費、業務委託料等のコスト上昇分を、指定管理料へ適正に反映していただけるよう検討をお願いします。 ・お客様の満足度の向上のため、市役所第一庁舎1階の喫茶店の土日営業について、庁内での検討をお願いします。		
(3) 総合評価	評価基準 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり 【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る	指定管理者 自己総合評価 B
① 評価理由 ・貸館の稼働率および総利用件数が開館以来最高の実績となり、高い満足度得られたことを評価しました。 ・第三期指定管理の初年度として、市民ニーズに応じた多様な公演を実施したことに加え、「KIDS Meets Arts」プロジェクトや「まち☆ハブ」事業など、新たな取組を展開し、幅広い世代に親しまれる事業を行った点を評価しました。 ・地域と関係を深め様々な企業等からご支援をいただくため、報告書「リポート to パートナース」を定期的に発行したほか、協賛企業向けポスターの発行などの営業を行った結果、令和5年度と比べ協賛社数が6社増え、過去最高の協賛社数となったことを評価しました。 ② 次年度以降の取組み ・第3期指定管理の2年目として、テーマに掲げた「文化芸術でさらに心豊かで幸せなまちに～ここから つながる～」に沿い、3つのホールの特性を活かした創造的で多様な事業に取り組みます。また、第3期指定管理の新規事業として立ち上げた「KIDS Meets Artsプロジェクト」を継続し、長野市の将来を担う子どもたちの未来を育む事業に取り組みます。 ・貸館事業については、市条例等に基づく、貸館事業の適正な運用はもとより、市民が使いやすい施設を目指し、利用者目線に立った、きめ細やかなサービスの提供を心がけることで、ホールや練習室の稼働率向上につなげます。また、ホールの空き日を練習や撮影等でご利用いただく「ステージ体感プラン」を継続し、施設の有効活用を図ります。 ・第3期指定管理の新規事業として立ち上げた「まち☆ハブ事業」を継続し、その一環として、長野市芸術館が、学生とアーティストの企業訪問、まち歩きやミニコンサート等を企画し、情報誌「Knot&」へ掲載することで、長野市芸術館の認知度を高め、身近な存在として理解・応援いただける機運を醸成します。 ・開館10周年に向けて、大型記念事業実施に向けた準備を行います。		